

## ■月寒小学校の実践

### (1) 研究内容

札幌市アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」の施設見学と同施設の体験プログラムを活用し、アイヌ民族の文化や歴史などについて、アイヌ民族の方から直接学ぶ体験学習

### (2) 学習活動を通して育てたい力

北海道の先住民族のアイヌの人たちが築いてきた歴史や文化を学び、正しい知識を得て、理解を深め、衣食住や遊びから、自然を生かした知恵について考えることができる。また、アイヌの方々の社会や文化を尊重する態度を養う。

### (3) 実践の内容

札幌市アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」の  
施設見学と体験プログラムの利用について

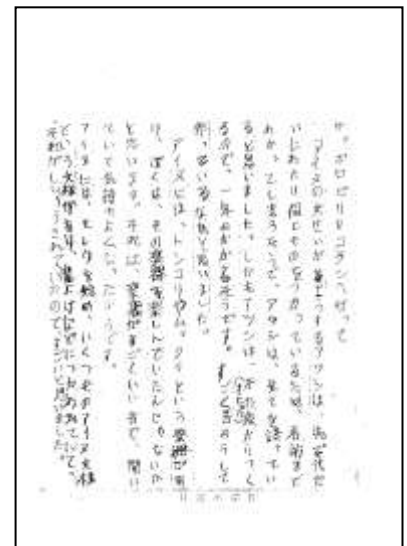
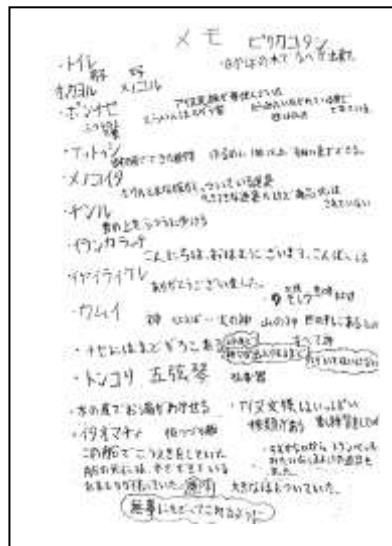
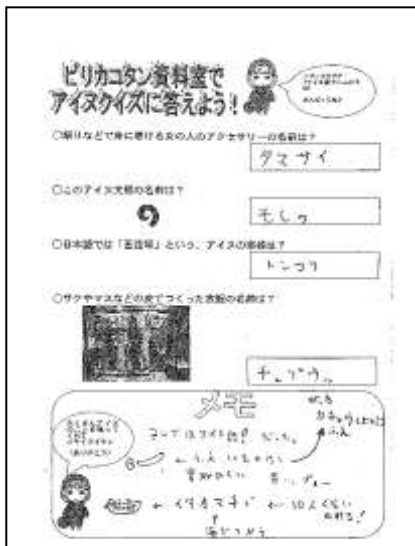
#### ○ねらい

札幌市アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」において、アイヌ民族の文化、歴史などをアイヌの方々から直接学ぶ体験的学習(交流)を通して、関心を高め、アイヌ民族の社会や文化を理解し、尊重する態度を育てる。

#### ○学習内容

- ・北海道の先住民族のアイヌの人たちが築いてきた歴史や文化を学ぶ。
- ・アイヌの人たちの衣食住や遊びについて調べたことから、自然を生かす知恵について考えていく。
- ・アイヌの人たちが語り伝えてきた話やお祭りを学ぶ中で、自然と共に生活しているアイヌの人たちの思いや願いを学ぶ。





#### (4) 成果と課題

##### ① 成果

- ・実際にアイヌ民族の方から話を聞くなど、貴重な体験の場となった。言葉や服装のお話を聞いたり、歌や踊り、演奏を鑑賞したりすることを通して、自然を生かす知恵について考えることができた。特に音色や民族衣装、アイヌ語の歌詞などに興味、関心をもつ児童が多かった。
- ・効率的、効果的な指導体制で学習内容（歴史や文化・遊びなど）の習得のための工夫がなされていた。その結果、施設とその展示物などを見学することでアイヌ文化についての理解を深めることができた。館内外の施設見学では、実際に触れることができ、しかも、分かりやすく説明をしていただくなど、親しみをもって学ぶことができた。
- ・アイヌの人たちが語り伝えてきたものやことに直接ふれることで、自然と共に生活しているアイヌの人たちの思いや願いを学ぶことができた。また現地に行き、直接、指導していただいたことにより、学ぶ意義を肌で感じ、体験の楽しさを実感することができた。

##### ② 課題

- ・教育課程の実施計画時期とその指導時数の確保、並びに見学施設の予約状況とバスの確保と行程等の調整作業。
- ・アイヌの人たちとの直接のふれあいを通じて歴史や文化等の理解を深め、差別のない人間関係を育んでいこうとする人権への理解につながる学習展開の工夫。